薬局経営研究会 in 松山

テーマ "「骨太の方針」から見えてくる薬局経営新時代"



6月7日に「経済財政運営と改革の基本方針2022」(骨太の方針)が閣議決定されました。具体性に欠けたわかりづらい内容ではありますが、確実に次に向けたメッセージを感じさせます。それは医療におけるDX化の促進であり、後発医薬品の次に医療費抑制策として浮上してきたリフィル処方箋ではないでしょうか。今回の「薬局経営研究会」では「骨太の方針」に隠された意図を探りながら、これからの薬局の在り方を考えたいと思います。

また、「骨太の方針」のもとになる「全世代型社会保障構築会議」「規制改革推進会議」「財政制度等審議会」「社会保障審議会」などの動きも活発化しています。これら審議会等から出される検討課題は年内にまとめられ、2024年度の診療報酬改定に盛り込まれます。目が離せない緊張感が続くのではないでしょうか。

その他にも「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」のまとめも、これからの薬局の在り方を大きく左右する内容になると思われます。ここでは調剤業務の外部委託、処方箋40枚規制の撤廃、服薬指導のテレワーク、服薬指導の場の考え方など、薬局経営の根幹が見直されます。マンツーマンも門前も、敷地内も通用しない時代が来るかもしれません。さらに猛威をふるっているのがドラッグストアの調剤売上ではないでしょうか。目の前の事象に惑わされず、全体を俯瞰できる情報の分析が必須となります。

「骨太の方針」に「2023年、2024年を見据えた短期的課題及び中長期的な各種の課題を全世代型社会保障構築会議にて整理し」としています。ここでの中長期とは2040年を示しています。2025年への対応は既に終わりました。次の2040年に向けた確実な準備を一緒に考えましょう。

会場

リジェール松山 8F 「鶴亀」 (愛媛県松山市南堀端町2-3)

時間

19:00~21:00

定昌

20名

主催

株式会社 Kaeマネジメント

後 援

株式会社 幸燿

5年後、10年後の継続に向けた戦略の構築が必須になります。

今回の研究会では主に、先日閣議決定した「骨太の方針」を中心に分析していきたい思います。 「これまでの骨太方針2021等に沿って着実に進める」という記載があります。その継続する内容から今 後の重点施策などをピックアップして考えていきたいと思います。。

また、2025年を控えてかなり動きが活発化してます。その動きを整理し、今できることを実践課題として受け止めることが重要になります。DX化、外部委託などは大手企業を対象とした問題のように感じるかもしれません。オンライン服薬指導は都会のコトだと考えているかもしれません。しかし、薬局業界として新しいコトが始まるという点では、規模も地域も変わりません。ICT化は地域を距離を超える大きなツールです。何が起きようとしているのか。問題を問題として受け止めなくては、解決への糸口は見つかりません。まずは全体を知り、自社で何ができるのかを考えることが重要になります。

研究会開催日

第1回 5 月 25日 (水)

第2回 7 月 27日 (水) **参加者募集**

第3回 9 月 28日 (水)

松山での開催は隔月(奇数月)になります。

偶数月は高松で開催をしております。

研究会では各種議会の最新情報をお伝えさせて頂きます。

駒形 和哉

株式会社Kaeマネジメント 取締役会長SAN

薬剤師 中小企業診断士 宅地建物取引士



昭和54年 東北薬科大学卒業後、医薬品卸入社。営業担当、コンサルティング担当を経て、 平成9年関連会社の設立に関わる。社長として同社を調剤薬局、在宅介護用品販売・レンタルの会社として成長させた。 平成19年同社を退社。8月より医療・福祉・薬局関連分野を中心とした経営コンサルタント会社である株式会社Kaeマネジメントを設立。年間の講演・研修は100回を大きく超える。多彩な経験と豊富な知識から語られる講義内容は、実践的でわかりやすいと評判。全国の薬剤師の兄貴として慕われている。

お申込み 「薬局経営研究会in松山」 FAX 03-5829-6679

氏名	
貴社名	
ご住所	〒
電話番号	
連絡先E−mail	
参加日程	□ 7月27日

お問い合わせ

株式会社Kaeマネジメント 東京都台東区浅草橋3-1-1 TJビル3F

東京都古来区茂早偏3-1-1 「JCD3F 連絡先 <u>TEL:03-5829-6659</u> <u>E-mail :seminar@kae-management.com</u>

